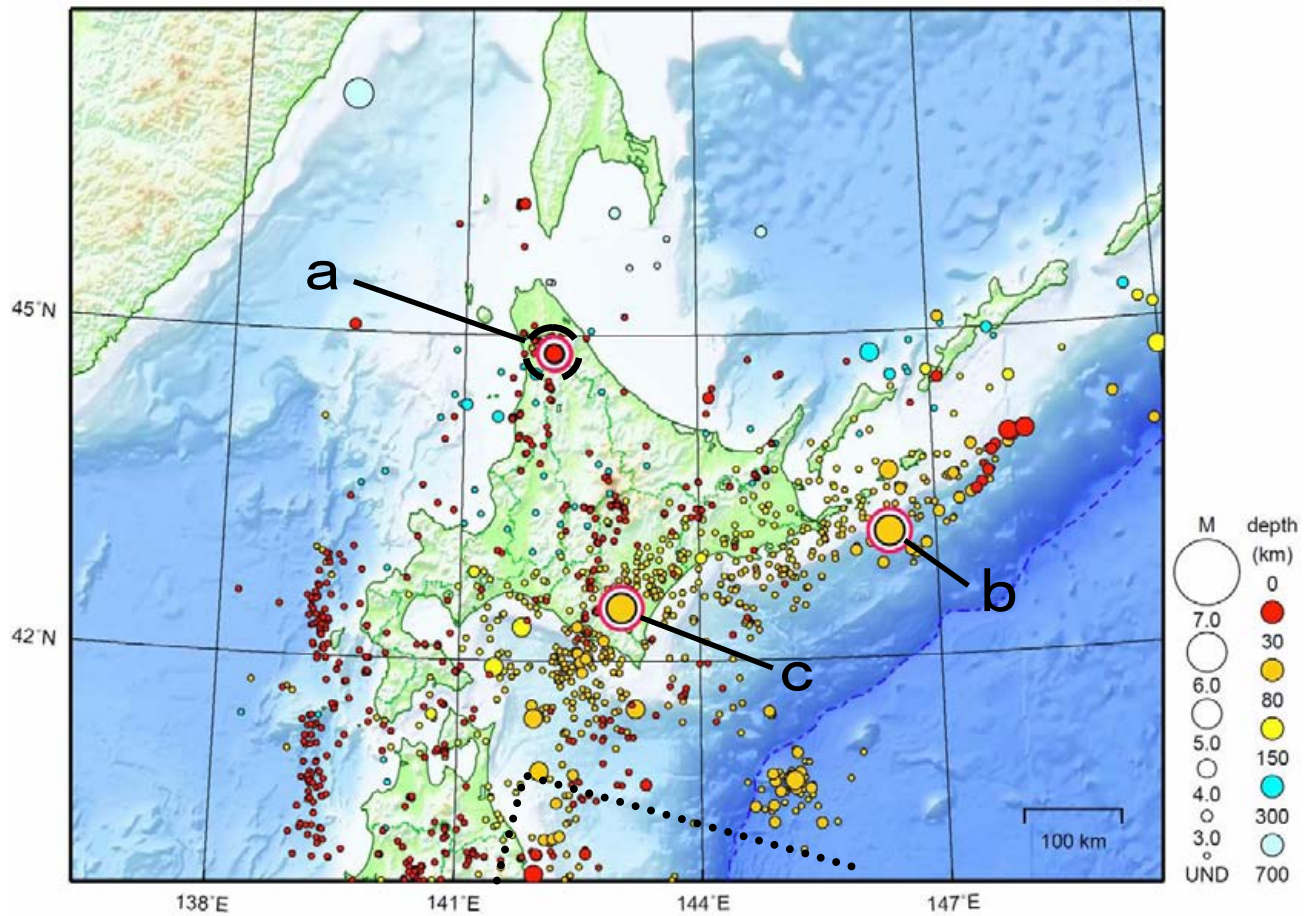


# 北海道地方

2012/07/01 00:00 ~ 2012/07/31 24:00

N=1622



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 上川地方北部で 7 月 15 日に M4.2 の地震、16 日に M4.3 の地震、18 日に M4.1 の地震（いずれも最大震度 4）が発生した。

気象庁はこれらの地震に対して[宗谷地方南部]で情報発表した。

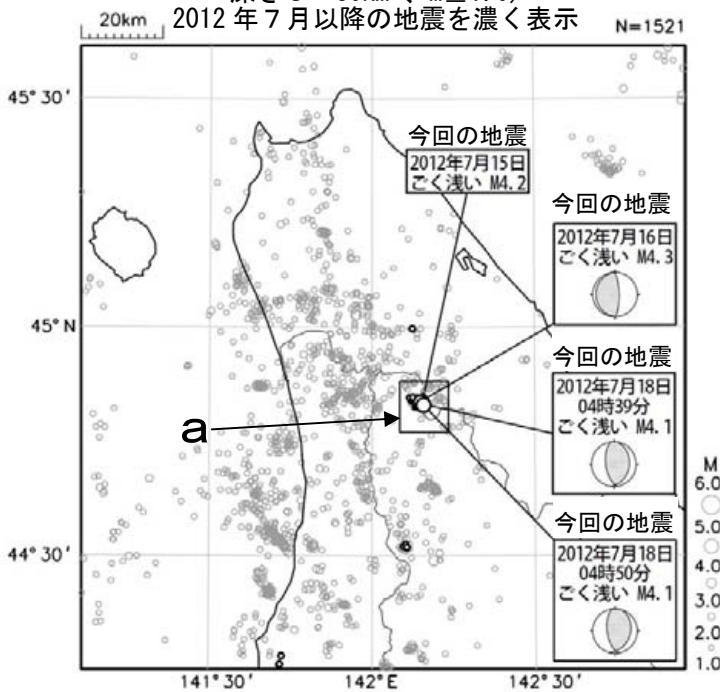
b) 7 月 15 日に根室半島南東沖で M5.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

c) 7 月 22 日に十勝地方南部で M5.1 の地震（最大震度 4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 7月15日、16日、18日 上川地方北部の地震

震央分布図  
(2001年10月1日~2012年7月31日、  
深さ0~30km、 $M \geq 1.0$ )  
2012年7月以降の地震を濃く表示 N=1521

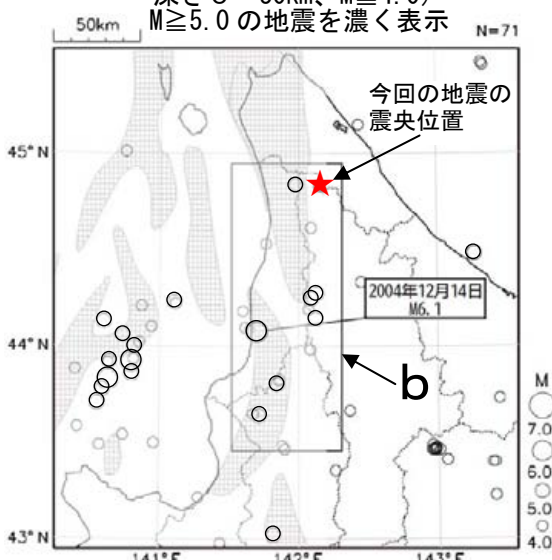


情報発表に用いた震央地名は〔宗谷地方南部〕である。

2012年7月15日23時08分に上川地方北部のごく浅い場所でM4.2の地震(最大震度4)が発生した。ほぼ同じ場所で16日06時49分にM4.3と18日04時39分にM4.1の地震(共に最大震度4)、18日04時50分にM4.1(最大震度3)が発生した。これらの地震は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した。なお、発生地震数は7月下旬には減少した。

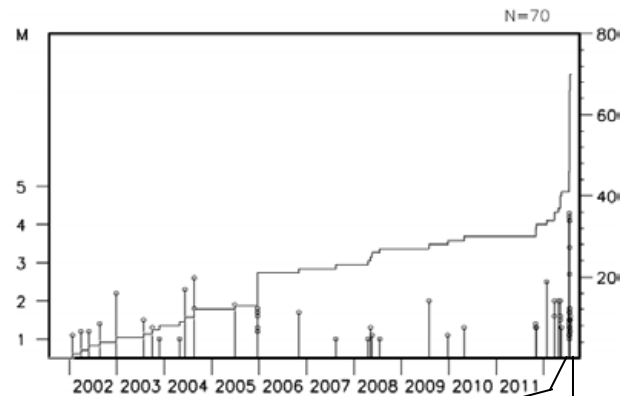
1923年1月以降の活動を見ると、北海道内陸北西部(領域b)ではM5.0以上の地震が時々発生している。これらの地震は、歪み集中帯\*やその周辺で多く発生している。最大は2004年12月14日の留萌地方南部の地震(M6.1、最大震度5強)で、軽傷者8人、住家一部破損165棟の被害を生じた(総務省消防庁による)。

震央分布図  
(1923年1月1日~2012年7月31日、  
深さ0~30km、 $M \geq 4.0$ )  
 $M \geq 5.0$ の地震を濃く表示 N=71

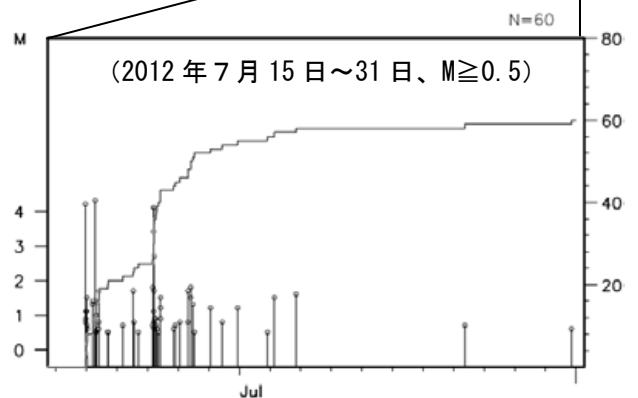
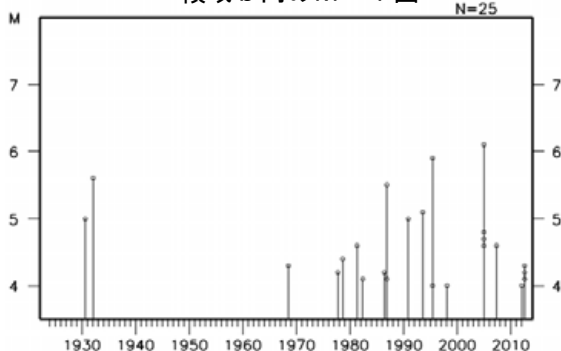


\* 網掛けの領域は背斜構造から推定した歪み集中帯(岡村, 2002及び「日本海東縁部の地震活動の長期評価」(2003)による)

領域a内のM-T図及び回数積算図

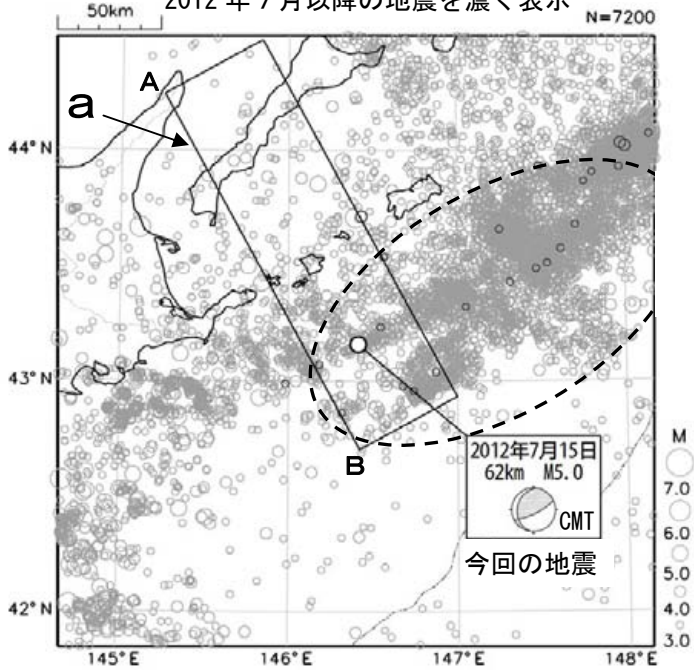


領域b内のM-T図



# 7月15日 根室半島南東沖の地震

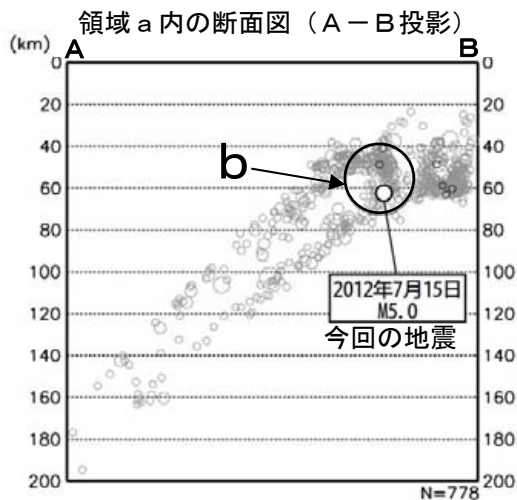
震央分布図(1997年10月1日～2012年7月31日、  
深さ0～200km、M≥3.0)  
2012年7月以降の地震を濃く表示



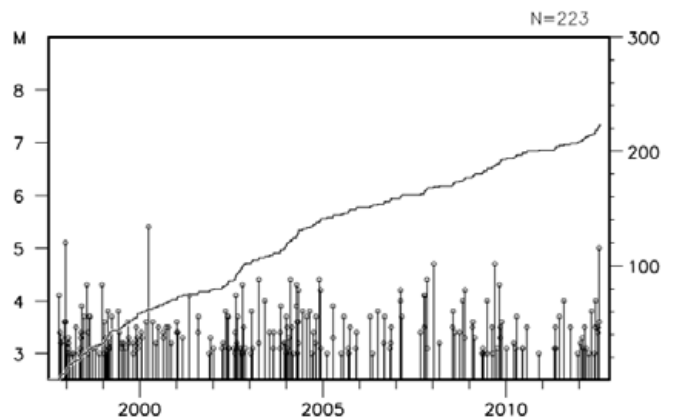
2012年7月15日23時34分に根室半島南東沖の深さ62kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震は沈み込む太平洋プレート内部で発生した。発震機構(CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ型である。今回の地震は、「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」の震源域(震央分布図中の楕円)の西端で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が度々発生している。

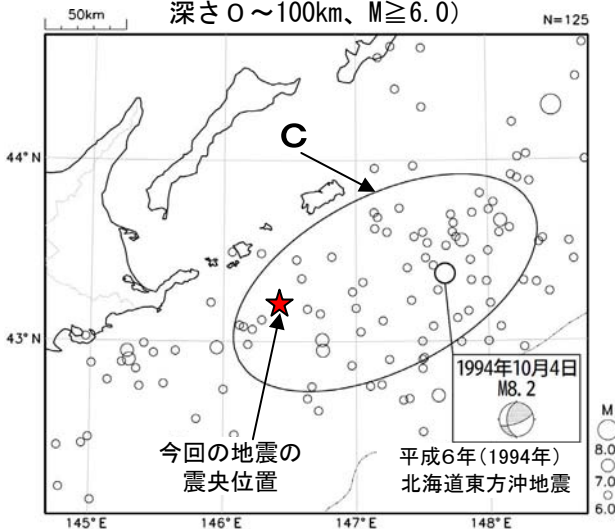
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生している。最大は「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」(M8.2、最大震度6)で、北海道東部を中心に重軽傷者436人、住家の全半壊421棟などの被害を生じた。また、この地震により日本の広い範囲で津波が観測され、根室市花咲で最大の高さ168cmの津波を観測した(「最新版日本被害地震総覧」による)。



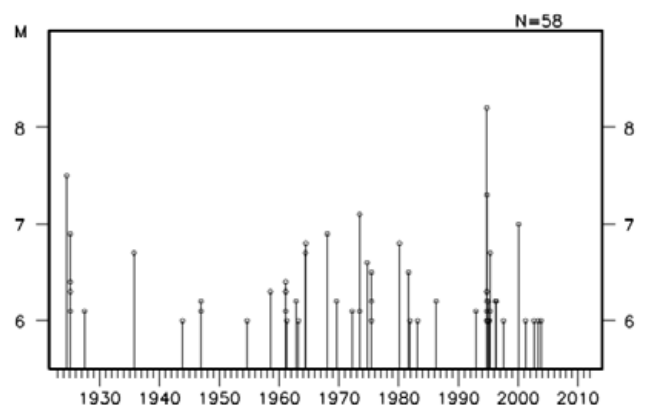
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
(1923年1月1日～2012年7月31日、  
深さ0～100km、M≥6.0)



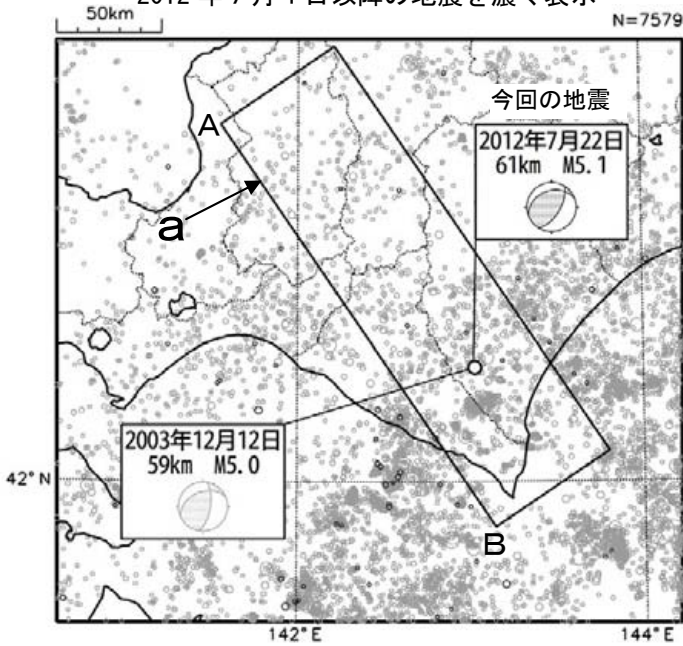
領域c内のM-T図



※ 図中の領域cは、「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」の震源域に相当する。

# 7月22日 十勝地方南部の地震

震央分布図(2001年10月1日~2012年7月31日、  
深さ0~200km、M≥2.0)  
2012年7月1日以降の地震を濃く表示

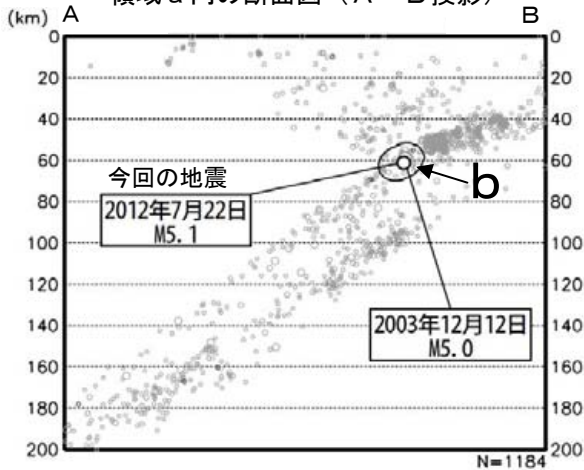


2012年7月22日13時41分に十勝地方南部の深さ61kmでM5.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

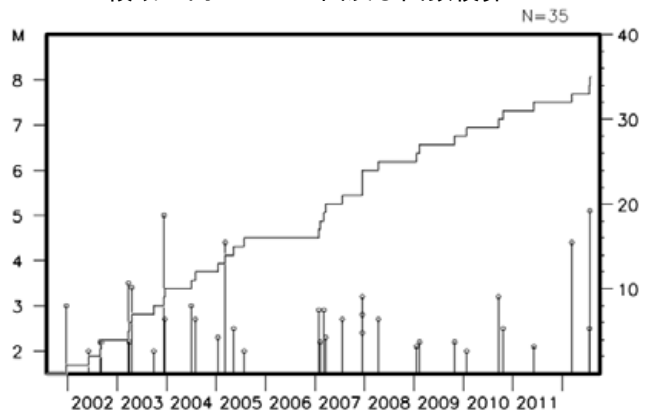
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2003年12月12日にM5.0の地震（最大震度3）が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M5.0以上の地震が度々発生している。最大は1970年1月21日のM6.7の地震（最大震度5）で、負傷者32人や建物の被害などを生じている（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

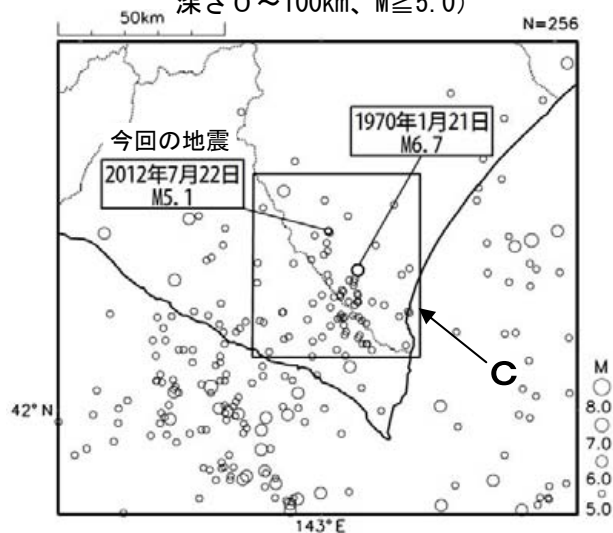
領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内のM-T図及び回数積算



震央分布図(1923年1月1日~2012年7月31日、  
深さ0~100km、M≥5.0)



領域c内のM-T図

